F06666R

施工説明書

2011.8

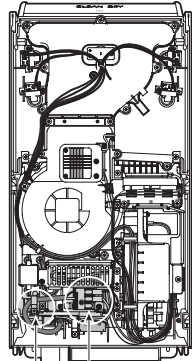
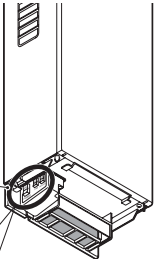
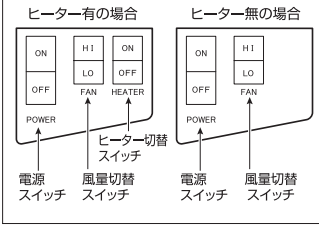
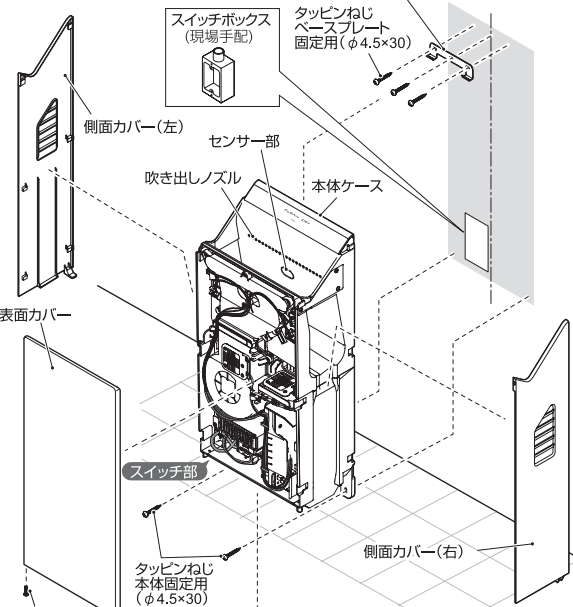
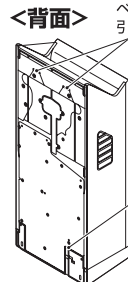
TOTO

クリーンドライ（高速両面タイプ）
TYC411型

日本国内専用

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。
商品にはお客様用として、取扱説明書（保証書付）が同梱されています。取り付け後は必ず付属の保証書に、店名およびお取付日等を記入してお客様へお渡しください。

1 安全上のご注意（安全のために必ずお守りください）

取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

🛇	🛇は、してはいけない「禁止」の内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
❗	❗は、必ず実行していただく「強制」の内容です。左図は、「必ず守る」を示します。

⚠ 警告

水場での使用禁止	**屋外や浴室など湿気が多い場所や直接水のかかる場所へ設置しない** 火災や感電、故障の原因になります。
禁止	**腐食性ガスや可燃性ガスなどの雰囲気中へ設置しない** 火災や故障の原因になります。
	粉塵の多い場所へ設置しない 火災や感電、故障の原因になります。
	塩害地域へ設置しない 感電や故障の原因になります。
	指定する電源(AC200V)以外では使用しない 火災の原因になります。
	電源線が破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重たいものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。傷んだまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。

⚠ 警告

分解禁止	**絶対に分解したり、修理、改造は行わない** 火災、感電の原因になります。
必ず実行	**電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および施工説明書に従って、電気工事士の資格をもった方が行う** 不確実な接続をすると、接続部が発火し火災の原因になります。
	電源には漏電遮断器を取り付ける 故障や漏電の際に、感電する原因となります。

⚠ 注意	必ず実行	**本体は十分強度がある平らで垂直な壁面に確実に取り付ける** 落下してけがをしたり、破損の原因となります。

お願い	ご使用の際、手を激しく動かすなど手の乾かし方によっては細かな水滴が周囲に飛び散ることがありますので、壁材や床材には、耐水性のある材料をご使用ください。

2 部品の確認および各部のなまえ

<付属品>

※品番は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

<本体内部>

表面カバーを外した状態
※図はヒーター有仕様の場合

<スイッチ部>

<クリーンドライ本体>

3 施工方法　この施工方法はあくまで新設の場合を基準に作成しております。

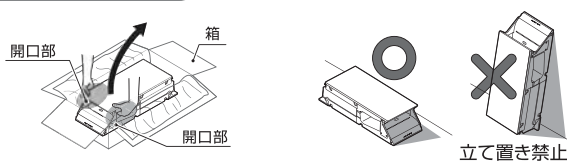
3-1 施工前の注意

<table>
<tr><td rowspan="2">⚠ 警告</td><td rowspan="2">
必ず実行</td><td>電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および施工説明書に従って、電気工事士の資格をもった方が行う
不確実な接続をすると、接続部が発火し火災の原因になります。</td></tr>
<tr><td>電源には漏電遮断器を取り付ける
故障や漏電の際に、感電する原因となります。</td></tr>
</table>

電源について

・定格以上の漏電遮断器を単独で設置し、指定の電源を印加してください。

	TYC411型
漏電遮断器	定格10A以上
電　　源	AC200V±10%
備　　考	100V印加すると動作しない

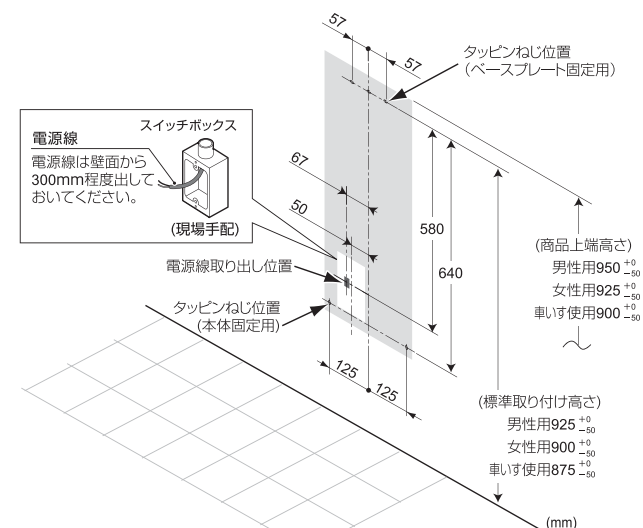
商品取り出しについて

お願い

・商品を箱から取り出す場合は、側面の開口部を持って取り出してください。
・商品を置く場合は、背面を下にして置いてください。立てたり、立て置きしないでください。
　※転倒して、商品の傷つきの原因になります。
・商品を壁面に取り付ける前に、側面カバーや水受けトレイを組み付けないでください。
　※そのまま持ち上げると、落下によりけがや商品の傷つきの原因になります。

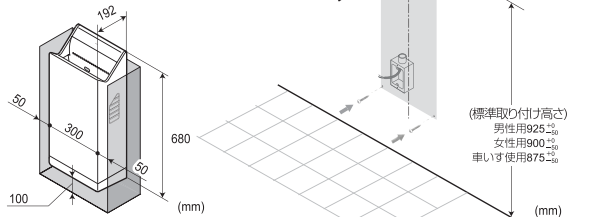
3-2 電源線直結時の施工方法

1 スイッチボックスの埋め込みと配線

・スイッチボックス（JIS C 8340）を壁面に埋め込み、電源線（VVFケーブルφ1.6またはφ2.0の単線）を配線します。
※電源線は壁面から300mm程度出しておいてください。

・スイッチボックスの中心位置は、以下のとおりとしてください。
　上下方向…ベースプレート固定用ねじ位置より580mm
　左右方向…中心より50mm左側
・電源線取り出し位置は、以下のとおりとしてください。
　上下方向…ベースプレート固定用ねじ位置より580mm
　左右方向…中心より67mm左側

2 ベースプレートの取り付け

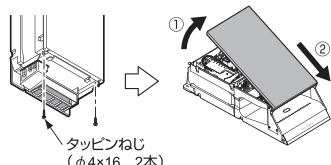
<table>
<tr><td>⚠ 注意</td><td>
必ず実行</td><td>本体は十分強度がある平らで垂直な壁面に確実に取り付ける
落下してけがをしたり、破損の原因となります。</td></tr>
</table>

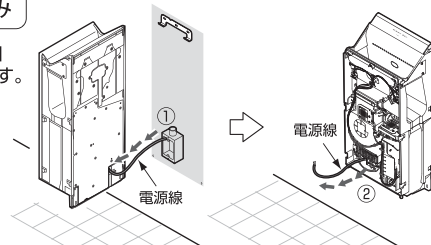
・ベースプレートをタッピンねじ（φ4.5×30、3本）を用いて、確実に壁面に固定します。
※タイルやコンクリートの壁面に取り付ける場合には、樹脂プラグ（現場手配）などを使用して取り付けてください。
※タッピンねじの引き抜き強度1000N以上確保してください。
※男女共用の場合は、女性用の高さに合わせてください。

お願い

・商品底面から下方100mm以内には障害物がないように空間を設けてください。
　また、凹凸のある壁面へ設置しないでください。
　本体動作時、吸気の妨げになり故障の原因になります。
・商品側面から側方50mm以内には障害物がないように空間を設けてください。
　本体動作時、商品側面の排気口からの排気の妨げになり商品の機能が十分に発揮されない場合があります。
　また、側面カバーを外して排水路を清掃するために必要な推奨空間です。

3 表面カバーの取り外し

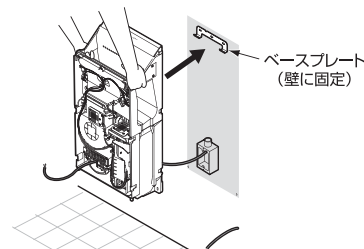
・タッピンねじ（φ4×16、2本）を取り外します。

・表面カバー下部を手前に引き、商品上側へ押し上げるようにして、表面カバーを取り外します。

4 電源線の引き込み

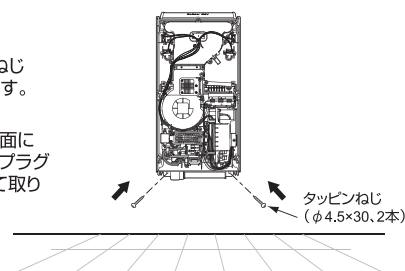
・本体裏側の電源線引込口より電源線を引き込みます。

自動ドア連動ボックス（別売品）を設置する場合は、自動ドア連動用ハーネス（別売品に付属）を同時に引き込んでください。

➡ 3-3 自動ドア連動ボックス（別売品）の接続方法　参照

5 本体の壁掛け

・本体ケースを、壁に固定したベースプレートに引っ掛けます。

6 本体の固定

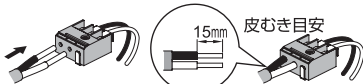
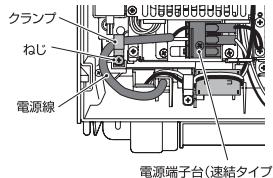
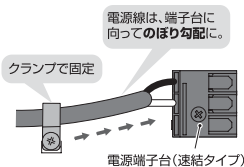
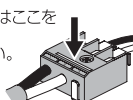
・本体ケース下部をタッピンねじ（φ4.5×30、2本）で固定します。

※タイルやコンクリートの壁面に取り付ける場合には、樹脂プラグ（現場手配）などを使用して取り付けてください。

7 電源線の接続

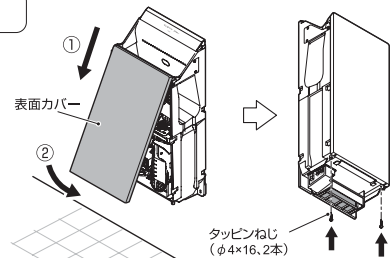
⚠警告	必ず実行	電源線は、先端をそろえ端子台に確実に差し込む 差し込みが不十分だと火災の原因になります。

・本体ケースに引き込んだ電源線を電源端子台に接続します。

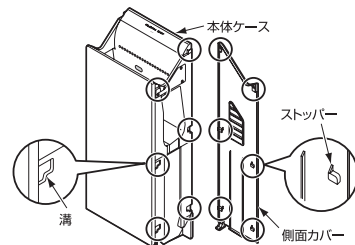
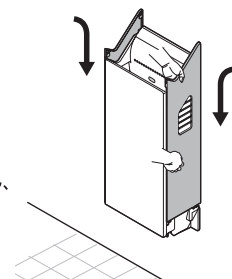
●電源端子台への接続について

各々の芯線がまっすぐ15mm出ている状態に加工のうえで、端子穴に芯線を"グッ"と奥まで確実に差し込んでください。

8 表面カバーの取り付け

・本体上部に表面カバーの上部をはめ込み、かぶせるようにして取り付けます。

・表面カバー下部を、タッピンねじ（φ4×16、2本）で固定します。

お願い　表面カバーを取り付ける際は、電源線や本体内部の電線類などをかみ込まないよう注意してください。

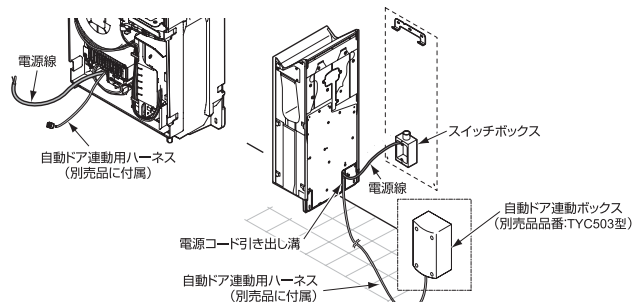
9 側面カバーの取り付け

（1）本体ケースの溝（6カ所）に側面カバーのストッパー（6カ所）を差し込むようにして取り付けてください。

（2）側面カバーが本体より1cm程度上に出た状態で6カ所のストッパーが本体ケースの溝にはまります。

側面カバーを上から下に押し込んでください。
取り付け後、表面カバーと側面カバーにすき間がないか確認してください。
すき間のある場合は、側面カバーを外し、再度取り付けてください。

※試運転後、水受けトレイを取り付けてください。

3-3 自動ドア連動ボックス（別売品）の接続方法

1 自動ドア連動用ハーネスの引き込み

・本体ケース内に電源線を引き込む際に、自動ドア連動用ハーネス（別売品に付属）も同時に引き込みます。

2 自動ドア連動用ハーネスの接続

・本体ケース内に引き込んだ自動ドア連動用ハーネスをコントローラーの自動ドア連動用コネクター（P6もしくはP7:アイボリー）に接続します。

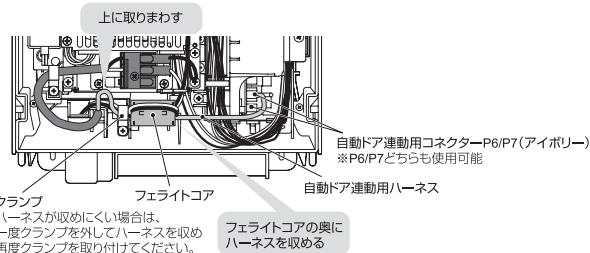
上に取りまわす

自動ドア連動用コネクターP6/P7（アイボリー）
※P6/P7どちらも使用可能

自動ドア連動用ハーネス

フェライトコア

クランプ
ハーネスが収めにくい場合は、一度クランプを外してハーネスを収め再度クランプを取り付けてください。

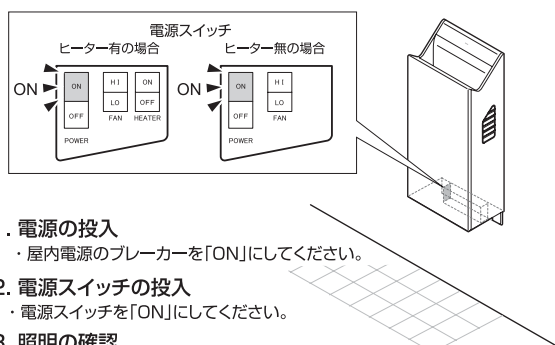
フェライトコアの奥にハーネスを収める

自動ドア連動ボックス（別売品）について

クリーンドライの動作信号によって、自動ドアを「開」するための装置でクリーンドライを動作させないと自動ドアが開かないようにして、工場などの衛生管理のお役に立てることができます。

品番:TYC503型（希望小売価格:￥20,000〈税込￥21,000〉）
※使用方法など詳細は、自動ドア連動ボックスに付属の取扱説明書をご参照願います。

4 試運転

■ 取り付けが完了しましたら、以下の方法で試運転を行ってください。

・水受けトレイを取り付けている場合は水受けトレイを取り外してください。

1. 電源の投入

・屋内電源のブレーカーを「ON」にしてください。

2. 電源スイッチの投入

・電源スイッチを「ON」にしてください。

3. 照明の確認

・電源スイッチを入れて照明の点灯を確認してください。
照明がつかないときは、もう一度、電源スイッチを確認してください。
照明が点滅しているときは、指定の電源が印加されているか確認してください。
※TYC411型(200V)に100V電源を印加すると、照明が点滅することがあります。
※照明が不要の場合は設定変更ができます(エラー時には照明が点滅します)。

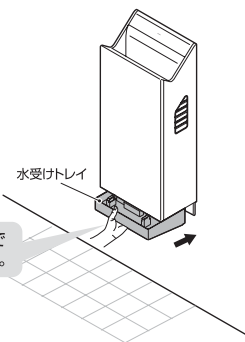
4. 動作の確認

・乾燥室内部に手を差し込み、風が吹き出すことを確認してください。

5. 風量切替スイッチ、ヒーター切替スイッチの確認

・風量切替スイッチおよびヒーター切替スイッチを操作し、モードが切り替わっているか確認してください。
※切替操作は、運転が完全に停止してから行ってください。

水受けトレイの取り付け

・水受けトレイを本体に取り付けます。

自動ドア連動ボックスを接続した場合は、自動ドアの開閉を含めた一連の動作を行い、正常に動作しているか確認してください。

試運転のあとは

■工事店様へ

試運転での動作確認が終了しましたら、「取扱説明書(保証書付)」「使用方法ラベル」「側面お掃除シート」をお客様に渡し、商品の使いかたについて説明してください。

設定変更のしかた

お願い

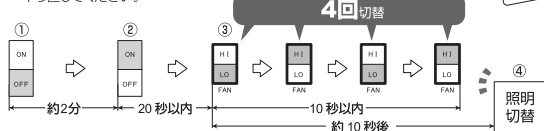
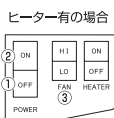
・ 切替完了までは、センサーに手をかざさないでください。
途中でファンモーターが動作すると、切替ができなくなります。

・ 作業は電源スイッチ「ON」後、20秒以内に始めてください。

照明を切り替える場合(常時「消灯」設定) ※出荷時:常時「点灯」設定

①電源スイッチを「OFF」にした後、約2分程経ってから切替操作を行ってください。
②電源スイッチを「ON」にしてください。
③風量切替スイッチを **4回** 切り替えてください。
※「HI」「LO」どちらの状態から始めても設定できます。
④風量切替スイッチの最初の操作から約10秒後に照明が切り替わります。
※照明を元に戻す場合も同様の操作をおこなってください。
※照明が切り替わらなかった場合は、もう一度最初からやり直してください。
※切替操作後に照明が点滅してしまった場合は運転音が切り替わっていますので「運転音を切り替える場合」を参照して性能を元に戻した後に、最初からやり直してください。

ヒーター有の場合
② ON
① OFF
POWER
HI LO FAN ③
ON OFF HEATER

ヒーター無の場合
② ON
① OFF
POWER
HI LO FAN ③

運転音を切り替える場合

①電源スイッチを「OFF」にした後、約2分程経ってから切替操作を行ってください。
②電源スイッチを「ON」にしてください。
③風量切替スイッチを **6回** 切り替えてください。
※「HI」「LO」どちらの状態から始めても設定できます。
④風量切替スイッチの最初の操作から約10秒後に照明が点滅します。
※性能を元に戻す場合も同様の操作をおこなってください。
※点滅しなかった場合は、もう一度最初からやり直してください。
※切替操作後に照明の点灯/消灯が切り替わってしまった場合は照明設定が切り替わっていますので「照明を切り替える場合」を参照して照明を元に戻した後に、最初からやり直してください。

運転音を切り替えた場合の点滅パターン

	点滅パターン	参考データ 風速(約)※1	参考データ 運転音(約)※2
出荷時	約10秒間に4回点滅 ON / OFF 2秒 2秒 2秒 2秒 0.5秒 0.5秒 0.5秒	強モード 手のひら 125m/秒 手の甲 105m/秒 弱モード 手のひら 110m/秒 手の甲 90m/秒	強モード 59dB 弱モード 55dB
運転音切替後	約10秒間に10回点滅 ON / OFF 0.5秒 …… 0.5秒 ……	強モード 手のひら 115m/秒 手の甲 95m/秒 弱モード 手のひら 95m/秒 手の甲 80m/秒	強モード 56dB 弱モード 53dB

※1 吹き出し部直下での測定値　※2 無響音室での測定値(前方2m、左右2mの平均値)